教材の活用場面

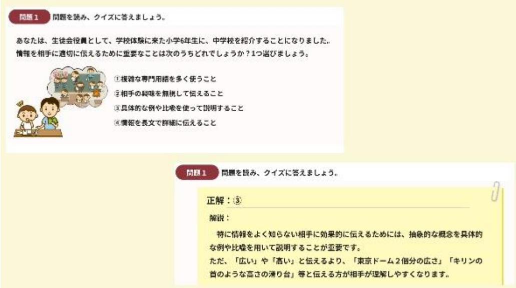
活用した教材	どうすれば相手に効果的に伝わるか？（教材番号Ｂ４-８）		
教材ＵＲＬ	https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/tokyo_model/contents0521/index.html		
STEP	STEP３	**領域**	Ｂ　情報活用
学校名	江戸川区立一之江小学校	**校種**	小学校
学年	第６学年	**教科等**	総合的な学習の時間
単元名	自由研究発表会を開こう		
活用の概要	自由研究発表会を開くにあたって、他者に伝わる発表にするために意識するべき内容を理解する。		

活用の様子

【ポイント１】学習経験を振り返った後にクイズ教材に取り組む。

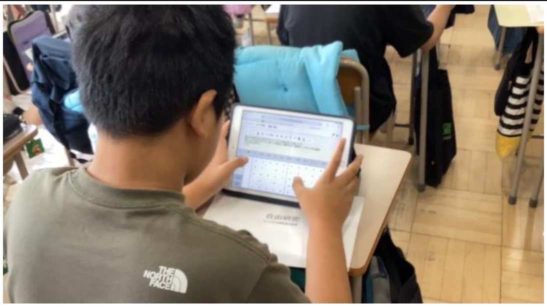
今まで学習の中で様々な発表をしてきたことを振り返る。振り返ることを通して難しかったことや困ったことなどを共有する。そして、クイズ教材に取り組み、効果的な発表の仕方を理解する。

【ポイント２】クイズ教材の解説をいつでも振り返ることができるようにする。



クイズ教材の解説をまとめたものを配布して、いつでも振り返ることができるように準備をする。

【ポイント３】発表会終了後にどのように生かしたのかを共有する。



クイズ教材で学んだことを生かして発表会を行う。発表会終了後に工夫した内容や効果について共有し、今後の学習に生かすきっかけを作る。

授業中の活用ポイント

段階	●主な学習活動・児童の活動	○支援・留意点■デジタル教材☆評価
導入	**1　本時のめあてを確認する。** ◎発表の仕方を工夫して相手に効果的に伝えよう ・今までの学習の中で様々な発表をしてきたことを振り返る。	○今までの学習経験を想起させ、よりよい発表をするために難しかったことや困ったことなどを共有する。
展開	**2　自由研究発表会に向けて発表方法を検討する。** ・「どうすれば相手に効果的に伝わるか？」のクイズ教材に取り組み、効果的な発表の仕方を理解する。 ・発表台本を作成し、練習を行う。 **3　全体に向けて発表をする。**	■クイズ教材の URL を事前に配布しておき、すぐにクイズ教材に取り組めるようにする。 ■クイズ教材の解説をまとめたものを児童用タブレットに配布しておき、いつでも振り返ることのできる環境を整える。 ☆クイズを通して学んだ工夫を発表に生かそうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
まとめ	**4　学習を振り返る。** ・発表したことを振り返り、今後の学習に生かせることを考える。	○工夫していた発表を取り上げ、今後の学習に生かす意欲を高める。